

## 【香美町の結果概要の公表と対策】

### 1. 調査結果の報告

平成26年4月22日(火)に、香美町の全ての小学校(10校)の6年生、中学校(4校)の3年生を対象に、国語・算数(数学)の学力を調べるとともに、質問紙による学習状況調査を行いました。

そこで、あくまでも学力の特定の一部ではありますが、調査結果を分析したことから分かる状況や課題点及び、今後の対策等を付け加え、結果の公表といたします。

### 2. 小・中学校の学力調査結果の概要

※調査結果の分析の基準

	全国平均を100とした時の割合	段 階
1	+5.1%以上	上 回 る
2	±5.0%以内	同 程 度
3	-5.1%以下	下 回 る

#### (1) 小学校の現状

教 科	領 域	香美町の結果
国 語	A(知識)	同 程 度
	B(活用)	同 程 度
算 数	A(知識)	同 程 度
	B(活用)	同 程 度

香美町全体の学力の状況は、昨年度と同様に国語A・B、算数A・Bともに「同程度」であった。しかし、国の平均との差を昨年度と比較して見ると、同程度の枠内であるが、国語Aと算数Bは、昨年度より数ポイント上昇している。

#### (2) 中学校の現状

教 科	領 域	香美町の結果
国 語	A(知識)	同 程 度
	B(活用)	同 程 度
数 学	A(知識)	同 程 度
	B(活用)	同 程 度

香美町全体の学力の状況は、昨年度は国語Bが全国より上回っていたが、本年度は国語A・B、数学A・Bともに全国と比較して「同程度」であった。また、国との平均の差を昨年度と比較してみると、同程度の枠内であるが、全体的に数ポイント低い状態であった。

### 3. 学力調査結果の傾向と課題

#### (1) 小学生

国語A(知識)	全体的な傾向	全体的に昨年度より、状況は上向き全国と同程度を示している。しかし、「話すこと・聞くこと」は昨年度よりは上向いているが、依然として全国より下回っているため、課題としてとらえ、指導方法等の工夫改善が必要である。なお、「読むこと」においても、昨年よりは上向いているが、「書くこと」と同様、昨年度に引き続き、注視しながら指導の充実を図ることが大切である。しかし、漢字の読み書き等は、昨年度と同様に良好な傾向にある。
	具体的な課題点	①「話すこと・聞くこと」・・・話し合いの観点に基づいて情報を関係づけた板書を見て読み取れるかどうかの問題(選択式) ②「書くこと」・・・文章の前後に書いてある内容から状況描写ができるかどうかの問題(選択式) ③「読むこと」・・・どんなことが書いてあるかを読み取る問題(選択式)、文章から相互関係を読み取る問題(短答式)
国語B(活用)	全体的な傾向	全体的に昨年度と同程度であるが、「書くこと」や「話すこと・聞くこと」は、注視しながら指導の充実を図ることが大切である。しかし、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、昨年度と同様に良好である。
	具体的な課題点	①「話すこと・聞くこと」・・・討論会での質問の意図を捉えたり(選択式)、立場を明確にして質問や意見を述べる問題(記述式) ②「書くこと」・・・3文の内容を関連づけてまとめて書く(記述式) ③「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」・・・表現の工夫を理解する問題(選択式)

算数A(知識)	全体的な傾向	全体的に昨年度と同様に同程度であり、「数量関係」や「図形」においては昨年度より上向いている。しかし、「数と計算」の領域や「図形」「数量関係」において、部分的に問題によっては注視しながら指導の充実を図ることが大切である。
	具体的な課題点	①「数と計算」・・・基準となったテープを基にそれぞれのテープの長さを求める式を答える(乗法の意味の理解)問題(選択式) ②「図形」・・・立体図形の見取り図から指定されて図形を読み取る問題(選択式) ③「数量関係」・・・ $100 - 20 \times 4$ の計算する問題(記述式)
算数B(活用)	全体的な傾向	全体的に昨年度より状況は上向き、全国と同程度を示している。しかし、「図形」においては、課題があり、指導法の工夫改善が必要である。また、部分的には「数量関係」などに課題がある。
	具体的な課題点	①「図形」・・・畳の敷き方を条件から考える問題(記述式) ②「数量関係」・・・水の量が全体の4分の1以上であるグラフ等を考える問題(選択式)、示された情報を整理し、求める式を立てて答える問題(記述式)

(2) 中学生

国語A(知識)	全体的な傾向	昨年度の全国との差を比べるとやや低い状態であるが、全国とは同程度を示している。しかし、部分的に「書くこと」においては良い傾向も出ているが、「話すこと・聞くこと」や「読むこと」の中には、注視しながら指導の充実を図ることが大切な部分もある。
	具体的な課題点	①「話すこと・聞くこと」・・・調理実習の場面での報告と資料を見て、足りない情報を見つける問題(選択式) ②「読むこと」・・・説明文の中で、文章全体と部分との関係から描写や言動を読み取り、内容を理解する問題(選択式) ③「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」・・・「半径」という漢字を書く問題(記述式)、「単刀直入」の意味を理解し選択する問題(選択式)
国語B(活用)	全体的な傾向	昨年度は、どの領域も全国の平均値より良い状況であったが、本年度は全国平均値と同程度を示している。しかし、設問をみると「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の中に、課題点や注視して指導の充実を図ることが大切な部分もある。
	具体的な課題点	①「読むこと」・・・説明文とインターネット情報から答えが得られるものとして適切な内容を選ぶ問題(選択式) ②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」・・・落語に登場する人物の言動の意味を考えその姿にあった適切な内容を選ぶ問題(選択式)

数学A(知識)	全体的な傾向	昨年度と同様に同程度の状況を示している。なお、「関数」に関しては、昨年度よりは上向いてきている。しかし、設問を見ると、「数と式」や「図形」「資料の活用」の中に、課題点もあり指導方法の工夫改善を図らなければならない大切な部分もある。
	具体的な課題点	①「数と式」・・・プールの水が120cm以下を不等式で表す問題(記述式) ②「図形」・・・線分の垂直二等分線の作図であることを見つける問題(選択式)、回転した図形から移動後の図形を読み取る問題(選択式)、円柱と円錐の体積の関係を理解しているかの問題(選択式) ③「資料の活用」・・・度数分布表から相対度数を求める問題(記述式)
数学B(活用)	全体的な傾向	全国と比べ全体的に同程度であり、「資料の活用」については、前年度より上向いている。しかし、設問から見ても、「数と式」においては注視しながら指導の充実を図らなければならない部分がある。
	具体的な課題点	①「数と式」・・・2つの偶数の商は、偶数であるかを問う問題と理由を答える問題(記述式)

## 総括

小・中学校の国語においては、学習指導要領の領域である「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において、知識並びに活用力を調査する内容であった。

また、小・中学校の算数(数学)においては、小学校では学習指導要領の領域「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」において、中学校は「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の領域において、知識並びに活用力を調査する内容であった。

その結果、小・中学校毎にそれぞれ、前ページの様な傾向や課題点が上げられる。

また、これらを見ると、昨年度と比べて、引き続き注視することの必要な点や記述式で答える問題などに依然として課題がある。

今後は、これらの課題点を克服するために、さらに発展的な学習および「目的や相手に応じて話したり聞いたり」する場面を設けたり、様々な文章を読む時間や日常生活の事象と関連付ける学習場面のある授業などの工夫改善を通して、「確かな学力」を育てることが大切である。



#### 4. 学習状況調査の結果(児童・生徒の質問紙からの傾向)

##### (1) 小学生

良好な点	課題点
①基本的な生活習慣をしている (※朝食・早寝・早起きなど) ②学校の宿題を行う ③地域行事に参加する	①難しいことに対して失敗を恐れ、挑戦することができない ②家庭学習(読書含む)の時間がやや少ない ③社会の問題や出来事に関して、関心がやや薄い ④新聞を読む機会が少ない

##### (2) 中学生

良好な点	課題点
①基本的な生活習慣をしている (※朝食・早寝・早起きなど) ②学校の宿題を行う ③地域行事に参加する	①難しいことに対して失敗を恐れ、挑戦することができない ②将来の夢や目標がもてない(※36%の生徒) ③自分に自信(自尊感情)がもてない (※35%の生徒) ④家庭学習(読書含む)の時間がやや少ない (※予習の時間が少ない) ⑤社会の問題や出来事に関して、関心がやや薄い ⑥新聞を読む機会が少ない

## 総括

質問紙の内容は、学習習慣や生活習慣、国語や算数(数学)、総合的な学習の時間などへの関心等や言語活動の状況及び規範意識や自尊感情などを調査するものであった。

本町の児童・生徒の質問紙からの傾向は上記の通りであるが、今後は、これらの傾向から見られる課題点を学校、家庭、地域がしっかりと共有し合い、連携しながら課題解決のために取り組むことが大切である。

## 5. 今後の方策

今後、本町では、これらの学力調査結果や学習状況調査の結果を踏まえ、次のように、学校、家庭、地域が連携し合い、それぞれの場で、具体的な目標をもって取り組む。

### 学 校

#### (1) 各教科の指導方法の工夫・改善を図る

学力調査の結果から、次の観点(ポイント)を取り入れた指導を推進する。

- ① 授業の冒頭に、「目標を確認する活動」を入れる。
- ② 授業の最後に、「振り返る活動」を入れる。
- ③ 「言語活動」の時間を取り入れた授業を推進する。
  - ・様々な考えや、思考を引き出す時間
  - ・話し合い活動の時間
  - ・資料を使って発表する時間
  - ・調べた内容を文章に書かせる時間
- ④ 「認め、ほめる」指導法を重視する。
- ⑤ 「個に応じた指導」を取り入れる。
- ⑥ 発展的な内容を学習する時間を推進する。

#### (2) 児童生徒が主体となる「課題解決学習」や「協同学習」の授業を推進する

本町の学力の課題を解決するためには、「確かな学力」を育てる授業を推進することが大切である。そのために、これまでの一斉授業を見直し、児童生徒が主体となる「課題解決学習」を中心とした授業を推進すると共に、みんなが協力し合って学習を進める「協同学習」に取り組む。

##### 〈課題解決学習〉を取り入れた〈協同学習〉授業の展開例

- (1) 本時の課題をつかむ。
- (2) グループに分かれ、課題を解決する。
  - ① 課題に対する、自分の考えを述べる。
  - ② グループ内の解決案(考え)をまとめる。
    - ・司会者を決めて学習を進める。
    - ・活動する場面
    - ・討議する場面
    - ・まとめを記述したり、発表方法を考えたりする場面
- (3) 学級として、課題を解決する。
  - ① グループ毎に意見を発表する。
    - ・表を使う、比較する
  - ② 意見交換して、学級としての考えをまとめる。
- (4) 振り返りの活動を行い、本時をまとめる。
  - ① 本時のまとめを表現する。
    - ・発表する、記述する
  - ② 次回の課題をつかむ。

※【課題解決学習】 児童生徒が主体となり、課題の解決に向けて取り組む学習

※【協同学習】 数人のグループでお互いが力を合わせ、助け合いながら学習を進めていく集団学習

※【確かな学力】 ①各教科の基礎的・基本的な能力

②思考力、判断力、表現力、問題解決能力、課題発見能力

③学習意欲や学び方などの学力

### (3) 効果の上がる学習環境を整える

学力調査や学習状況調査の課題を解決するために、全教職員が十分に共通理解を図るとともに、効果の上がる学習環境づくりに取り組む。

- ① 全教職員が共通理解を図る時間を確保する。
- ② 模擬授業、外部講師を招聘した研修を充実する。
- ③ 家庭学習のあり方の共通理解の場を設ける。
  - ・宿題の内容(調べたり、文章を書いたりする宿題等)の確認
  - ・家庭学習時間の目安の設定
  - ・読書の時間の目安の設定
- ④ 学校での読書の時間の設定を確保する。(朝時間等)
- ⑤ 将来の夢や目標を持たせる活動を展開する。
- ⑥ 補充的な学習の時間について検討する。

#### 家庭との連携事項

- ① 家庭学習の習慣づくり
- ② 読書の習慣づくり
- ③ 規律ある生活(早寝、早起き、朝ごはん等)の習慣づくり
- ④ 将来への夢づくり
- ⑤ 新聞を読む習慣づくり



#### 地域との連携事項

- ① 地域の一員を自覚する行事づくり
- ② 将来の夢や希望を育てる行事づくり

香美町教育委員会